

平成28年1月吉日 発行
発行者 公益財団法人青樹会
編集者 公益財団法人青樹会
広報委員会
連絡先 医療社会事業課

青葉の風



第35号

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平成28年の新春を健やかに迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。皆様の新しい年が素晴らしい年になるよう祈念致しまして滋賀八幡病院の季刊広報誌「青葉の風」第35号をお届けいたします。



ちよっと話題になっている

「新型認知症」のはなし

看護部長 青野 章



なんでも「新型」が流行で、テレビや冷蔵庫、洗濯機などの電化製品から車まで、次々と「新型」が出て我々の購買意欲をそそっています。

病気の世界も例外ではなく、新型インフルエンザや新型ノロウイルスなどの感染症も流行の兆しがあります。精神科でも近年「新型うつ」などが話題になっています。

実は認知症にも「新型」があるのをご存知でしょうか？

「新型認知症」は、実はうつ病の一種で「うつ病性仮性認知症」と言います。症状はアルツハイマー型認知症とよく似ていますが、全く別物で早期に発見し治療すれば劇的に症状改善が期待できます。

「新型認知症」の原因は、前頭葉の血流量の低下にあります。前頭葉は集中力や注意力を司る部位で、加齢とともに血流量が低下し集中力がなくなると言われています。症状としては、主として注意不足による物忘れと気分の落ち込みです。

- ① 人から何か頼まれても上の空
- ② 最初の一言、二言は聞いているが、すぐに集中力が切れて途中から話を聞いていない
- ③ 自分が重大な病気だと思い込む

更に自律神経の働きも悪くなり、頭痛・倦怠感・食欲不振・便秘・睡眠障害等の身体症状も現れます。物忘れに伴い様々な身体症状が出てくるのが「新型認知症」の最大の特徴です。患者の多くは自分が重大な病気だと思い込み、それが更なるストレスになり負のスパイラルに陥りやすくなります。この症状を改善させるためには、原因となっている前頭葉の血流量を増加させることが大切です。

どのような病気でも、予防が第一です。うつ病にも認知症にも、もちろん「新型認知症」にも有酸素運動が有効だと言われています。特に認知症に関しては、日光を浴びる事と、一日5,000歩以上のウォーキングで予防効果があるそうです。

心身の健康維持のため日光浴をかねて、毎日5,000歩～8,000歩を目標にウォーキングはいかがでしょうか。



外来診療予定表

	月	火	水	木	金	土
1 診	由利	山 柁	石 倉	由利	山 柁	石 倉
2 診	濱 名	山 本	齋 藤	山 本	濱 名	—
3 診	—	青 木 崇	岡 島	青 木 崇	—	—
4 診	—	藤 井	青 木 宣	—	—	—
内 科	—	—	山 下	—	—	—
循 環 器	—	—	—	—	—	蘆 原

外来診療は完全予約制です。事前にお電話でご確認ください。

- ・診 療 時 間 : 午前9時 ~ 午後5時
- ・診 療 日 : 月曜日~土曜日 土曜日は平常どおり診療しております。
- ・休 診 : 日曜 祝祭日 年末年始 (12/29~1/3)、



~~ 受診の際は健康保険証をお忘れなく ~~



私たちは、地域住民の心と身体の健康をささえる病院として、
全ての人に等しく医療を提供し、公衆衛生の向上ならびに社会福祉の増進に貢献します。

滋賀八幡病院看護職員募集



看護師さん・准看護師さんを募集しています。



私たちと一緒に働いてみませんか？

看護部では、「ほほ笑みかけるキミの勇気がエネルギー」を合い言葉に、看護の質と患者さま満足度の向上に努め、安心と満足、信頼を得られる看護の実践を目指しています。

ワークライフバランスを重視した働き方ができます。在職中の看護職員の年齢層は幅広く、とても働きやすい職場になっています。お子様がいらっしゃる方も安心して働けます。

- ・年間休日は 124 日 (平成 27 年実績、県下トップクラス) です。
- ・残業も少ない環境です。

勤務日・勤務時間などはお気軽にご相談ください。
詳しくは、当院の看護部までお問い合わせください。

職員募集担当：滋賀八幡病院 看護部

TEL 0748-33-7101

URL <http://www.seijyukai.jp>



外来待合室コンサート



今年度から外来の待合室を開放してのささやかな催しを始めました。第1回目は、平成27年10月9日に、院内の文化祭と兼ねて実施する運びとなり、県内各地の学校や福祉施設を慰問されている実績をお持ちの



「湖南省びわ湖よし笛アンサンブル」の皆様をお招きし、よし笛コンサートを実施いたしました。

院内外の患者様やご家族様を前に童謡や唱歌など幅広く演奏していただき、最後は音に合わせた体操を紹介していただき会場が一体となりました。よし笛はどこか懐かしい音色で、親しみの持ちやすい楽器だと参加者の人からも好評でした。

「湖南省びわ湖よし笛アンサンブル」の皆様を始め、ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。来年も良い企画を考えてまいります。

社会復帰科 横田 治



学術研修会・公開講座を開催して



平成27年11月29日(日)に公益財団法人 青樹会 学術研修会・公開講座を無事開催することができました。今年度は「多様化する医療への対応を考える」をテーマに各部署からの問題提起や成果の発表を行いました。毎年多職種が一体となり、精神科医療の展開と可能性を見つめる研究に取り組み、活発な意見交換ができました。会場はアクティ近江八幡をお借りし、第1部は院内より提出された10題のうち審査で計7題の発表が行われました。

第2部の公開講座は地域社会の方の聴講も募集し、前滋賀県知事であり、びわこ成蹊スポーツ大学の学長の嘉田由紀子先生を講師として迎え「超高齢社会の医療福祉の在り方」～滋賀県としての挑戦～をテーマにご講演いただきました。知事時代にされていた「三つのもったいない」のお話や住み心地日本一を目指し滋賀県として、医療福祉の仕組みを確立する事が急務であると述べられました。超高齢社会の中で、長年住み慣れた家で安心できる生活を支える医療福祉の一端として当院の役割を再認する講演でありました。

そして、学術研修会の研究発表・公開講座を通し、今回のテーマでもある「多様化する医療への対応を考える」いい機会になったと感じています。今後もいろいろなテーマを掲げ継続して行っていきたいと考えます。

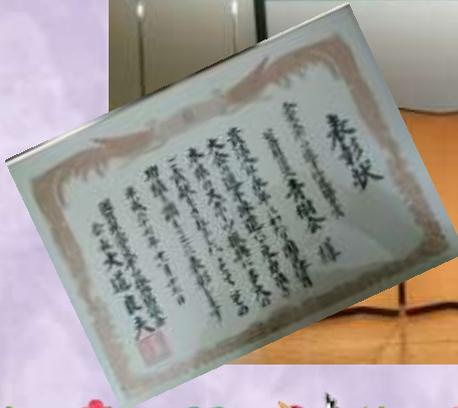
庶務課長 里内広章

野球部だより 今季の総括と報告

今年度の天皇賜杯 国民体育大会の出場に際しては多くの方々に足を運んでいただき、部員一同感謝申し上げます。一方、「勝利」という形での恩返しが出来なかったことへのくやしきの残るシーズンでもありました。

また、今回の国民体育大会の出場により「滋賀県企業スポーツ振興協議会」より当財団に対し「企業スポーツ選手派遣協力賞」の表彰を受け、多くの大会へ参加できる環境を提供していただいていることへの感謝と野球を通じての貢献をより強く意識し、来シーズンを迎えたいと思います。ご声援の程、よろしくお願い致します。

野球部監督 西田幸司



H27年 優秀賞作品

地域医療連携部 医療社会事業課は、平成26年、平成27年と安全なまちづくり近江八幡警察署管内事業所連絡協議会が管内の事業所を対象に実施した「防犯ポスターコンクール」にて優秀賞をいただきました。職員から生まれた様々なアイデアを用い、地域の皆様の防犯意識の啓発に役立つようなポスターを作成できたと思います。

効果的なポスターとは、はっと目に留まるような、注意を喚起するものでなければなりません。本年のポスターでは、立体的な側面からデザインにアプローチし、視覚的なインパクトをもたせることができました。来年度以降も、多くの人の心に訴えかけるようなポスターを作成できるよう、新しいアイデアをとりいれてチャレンジしていきたいと思っています。

個人的な話になりますが、私は絵を描くのが子どもの頃から好きで、よく漫画やイラストを描いていました。将来の夢は漫画家でしたが、成長するにつれ才能の無さを痛感して、いつからか漫画家の夢を諦めてしまいました。夢は破れてしまいましたが、今でも絵というものは、私にとって希望のようなものです。ポスター作成という形で絵に携われることは、とても楽しい時間でもあります。誰にでも、自分にとって大切にしたいものや、瞬間があると思いますが、そういう気持ちを改めて思い起こさせてくれる良い経験となりました。



H26年 優秀賞作品

医療社会事業課 北河 久美子

急性期治療病棟始動しました

平成 27 年度より開設した急性期治療病棟の運営を任されています。当院は、東近江圏内において唯一の精神科病院であり、地域に密着した病院運営に心掛けています。

★急性期治療病棟は、精神療養病棟から平成 27 年度に移行しました。精神療養病棟の時は長期入院の患者さまが多く、高齢化が進み社会的入院を余儀なくしていた部分が見受けられました。それはベッドの回転率も悪く、社会や地域、まして患者さまのニーズにできていないのではないかと懸念がありました。

現在、急性期治療病棟は感情障害（そううつ病）の患者さまやストレスをうまくコントロールできない方が入院してこられます。間口を広く患者さまを受け入れ、入院後は早くに薬を処方され環境調整により、早い時期に病状回復され社会復帰される方が多くなっているように感じます。入院期間は様々ですが、1 週間で退院される事もあり、長くとも 3 か月の入院期間です。急性期治療病棟は個室を多く設け、プライバシーを気にされる方は個室希望の患者さまも多く見受けられます。

以前は、精神科病院の敷居が高く、受診がしにくい印象がありましたが、現在はそれも払拭されつつあり、入院病棟は患者さまとスタッフの何気ない会話が多くみられ、アットホームささを感じる雰囲気があります。病棟には看護師、看護補助、クラークに加え、病棟専任の精神保健福祉士が在中しており、退院後の生活についても専門的な障害福祉の相談にも乗る体制を組んでいます。もちろん、患者さまを取り巻く様々な問題に関しては、医師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士・薬剤師・管理栄養士等、多職種が各専門分野を発揮し、治療を進めています。

精神科も、現代病と言われている中、気分が優れない、ストレスを感じやすくうまくコントロールできない、不安が何時もつきまとう等の症状がある方は早めの受診をおすすめします。精神科の病気の苦しみやしんどさは、周囲の人に理解されにくい病気です。自分の中で芽生えた感情や戸惑いをひとに伝えることも難しいことです。当院では患者さまに寄り添い、戸惑いや不安を和らげ、言語にならない感情と一緒に「言葉」という形で共有できたらいいなと思います。

★最後に、私は精神科病院に勤務し、19 年になりますが、滋賀八幡病院看護部のスローガン「ほほ笑みかける、きみの勇気がエネルギー」を合言葉にこれからも患者さまが治療に専念できるようにサポートしていきたいと思っています。



滋賀八幡病院で看護課長をしております北村と申します。



看護課長 北村 誠

認知症疾患医療センターおうみ始めました。



当院では平成 27 年 10 月 1 日に「認知症疾患医療センター おうみ」が開設されました。センターでは、認知症の早期発見、早期治療を目指し、認知症に関する専門医療相談や認知症の鑑別診断を行っています。「最近もの忘れが増えた」「今まで出来ていたことが出来なくなった」「怒りっぽくなった」「なにもする気が起こらない」など今までと違うな、認知症かな?と思ったらまずはご相談ください。

専門医療相談員がご本人の様子をお伺いし、必要に応じて鑑別診断のための検査・診察の調整をいたします。診察では検査結果やご本人との面談、ご家族の情報などから認知症かどうかを診断し、結果を説明いたします。鑑別結果はかかりつけ医にもお知らせしますので、通い慣れた診療所や開業医、病院で治療を継続することが出来ます。

また、在宅生活の中で、ご家族だけでは対応が困難になった際には介護保険の申請、サービスの利用についてなど情報提供を行い、ご家族の負担が軽減されるよう各関係機関と連携を図っていきます。認知症状が進み専門医療機関での治療が必要となった場合には、当院への通院・入院治療も併せて検討いたします。

受診についてはもちろん、認知症に関して日常生活の中でお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

専門医療相談員 谷川 香織

駐車場有
駅より徒歩5分圏内



- ➡ **相談** 日月～金曜日
(土日・祭日・年末年始除く)
- ➡ **相談時間** 9:00～16:00
- ➡ **相談方法** 来院・面談・電話相談
- ➡ **相談料金** 無料

- ☺ **住所** 近江八幡市鷹飼町744 (滋賀八幡病院内)
JRびわこ線 近江八幡駅下車 北口300M
- ☺ **TEL** 0748-33-7106 (相談専用)
- ☺ **URL** <http://sei-yukai.jp/>